釧路湿原川レンジャー News

2014　Vol.5

第5回「釧路湿原川レンジャー学習会」が開催されました

平成２７年２月２６日(木)に、１８名が参加して「第５回釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました。

今回は、標茶町茅沼での「自然再生事業現場見学」と釧路河川事務所での「観察活動報告会」を行いました。

位置図

「自然再生事業（茅沼地区木道設置工事）」について

北海道開発局釧路開発建設部では、平成18年度から茅沼地区旧川復元に着手し、復元後もその効果確認のため、継続してモニタリング調査を実施しています。そこで今年度から、それら関連調査や維持管理を目的とした管理用道路を設置しています。なお、設置にあたっては、旧川復元について、市民や観光客の普及啓発活動への利活用や景観の配慮を踏まえ、木道タイプとしています。

●現場見学

今年は例年よりも気温が高く、現場は雪が解けて泥だらけでしたが、作業を見学しながら木道の終点まで到着すると、対岸にはエゾシカが多数出没していました。また、担当者の方に様々なことを説明していただいたので、その内容を下記にまとめました。

- 木道は、道南産のスギ材を使用しており、幅1.2m、延長540mで、段差が無く、水平に設置されている。また、ルートは、在来植生や樹木に配慮して設定している。
- 木材は、環境に配慮した薬剤で防腐処理しており、薬剤が浸透しやすいよう、表面に傷をつけている。
- 木道の基礎になる杭は、長さが1.6m、重さ約10kgで、ネジのようになっており、地中に1.2m程を回して埋める。
- 設置場所が湿原や河岸付近なので、できるだけ腐食しないように金属の杭を使っており、地面から露出する上部は、景観に配慮して塗装している。
- 来年度は、待避所や展望スペースなどを設置する予定。

木道設置工事　説明図

基礎杭の説明を聞く参加者

景観に配慮して橋部のｺﾙｹﾞｰﾄ管も露出部は塗装

対岸にいたエゾシカの群れ

争う2頭のオス

木道に使用するスギ材

設置中の木道

3月に完成した木道

木道と記念撮影

「観察活動報告会」

午後からは昨年に引き続き、釧路河川事務所で「観察活動報告会」を行いました。今回は、発表者作成の資料を参加者に配布し、応募していただいた３グループが日頃から行っている活動などを報告しましたので、紹介します。

なお、参加した皆さんは興味深く発表を聞き、資料に目を通していました。

発表する菊地氏

●H26-048 菊地　利長さんの発表

『釧路川の歴史～標茶・弟子屈町民の生活』と題しまして、撮影した写真を中心に紹介しながら、釧路川との関わりについて報告していただきました。

「弟子屈町の発展」に関わる硫黄山の採掘、貴重な摩周湖の写真や「標茶町の発展」に欠かせない集治監の囚人、軍馬補充部、今も残っている土塁（馬が乗り越えないように土を盛ったもの）の写真、磯分内にあった製糖工場など、写真撮影のお話しも織り交ぜながら紹介してくれました。

軍馬の土塁跡（磯分内）

●H26-027 松田　國宏さん、H26-018 臺野　邦子さんの発表

『釧路川・釧路湿原についてPart２』と題しまして、昨年に引き続き、新聞記事やパンフレットなどを紹介しながら、報告していただきました。

昨年、土木学会選奨土木遺産に選出された、「新釧路川」の工事や身近な生活に関わる水道水「愛国浄水場の新処理法」、「森林浴」でのフィトンチッドの効果について発表しました。また、塘路にある「二本松」の義経伝説や「丹頂」、「ウチダザリガニ」など「釧路川・釧路湿原」について幅広く紹介してくれました。

発表する松田氏と臺野氏

パンフレットなどを紹介

●H26-036 杉山　伸一さんの発表

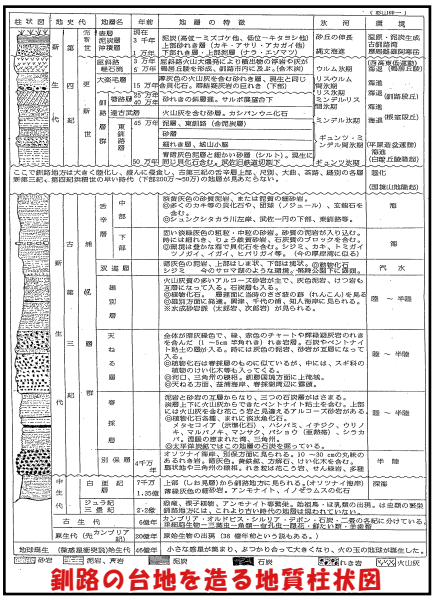
『屈斜路軽石流（かるいしりゅう）』と題しまして、採集した軽石を紹介しながら、報告していただきました。軽石とは、火山が噴火したときに噴出した溶岩が急に冷やされて、中に含まれているガスなどが逸出してできた多孔質（多数のアナがあいた）の軽い石です。

「屈斜路軽石流」について、約３万年前に発生したことや、分布状況、釧路市に降り積もった火山灰、阿寒カルデラとの色の違いなどを実物の軽石や地質柱状図（地層の堆積を示す断面図）などを使って、紹介してくれました。参加者も実際に軽石を観察し、重さなどを確認していました。

発表する杉山氏

採集した軽石

軽石を観察する参加者


釧路の台地を造る地質柱状図

●意見交換会

最後に参加者から一人ずつ意見や感想をいただき、今年度の学習会を終了しました。なお、参加者からの抜粋した意見や感想は以下になります。

意見交換会の様子

○茅沼の旧川復元の入口から出口辺りまで、見てみたいと思っています。
○春に散策路の話を聞き、そのルートが思った通りだったので、参加できて良かったです。
○今日、生まれて初めてオス鹿の戦いを見て、本当に参加して良かったと思いました。
○現場で自分じゃ気づかない事を解説してもらい、非常に知識が高まります。また、発表を聞いて、非常に参考になるので、このようなタメになる学習会に引き続き参加していければと思っています。
○今日は自然の雪原を歩く事ができ、良い空気をいっぱい吸って、色んな動物も見れて、本当に良かったと思ってます。
○川や湿原に行って報告する事は、今まで一度も無く、ちょっと肩身が狭いんですが、また来年も参加させて下さい。
○いつも自転車で観察していますが、知識があまり無いので、植物など分からない事があったら事務局に質問しています。
○遊歩道が道内スギで健康に良く、杭も1.2m位まで深く挿し、排水を良くするなど、今まで全く考えもしなかったです。
○発表会は、身近な話や専門的な話まで非常に参考になって、自分も少し何か！という気持ちを奮い立たせた一日でした。
○立派な木道で、自然に余りストレスを与えず湿原の奥まで行ける。これは自然観察のメッカになるのでは？と思います。

観察活動の報告

釧路湿原川レンジャーの皆さんから寄せられた観察報告を紹介します。今回も堤防などの河川構造物の破損や不法投棄、動植物など様々な報告がありました。**今後も皆さんからの報告をお待ちしております。**

観察活動で報告された内容とその対応（H26年9月～H27年1月）

報告日	報　告　内　容	対　応
H26.9.21	エゾシカなどによる堀跡	必要に応じて河川事務所で補修
H26.9.21	動植物報告：タンチョウの羽など	貴重な環境情報として取り扱う
H26.9.25	自転車の不法投棄	管理者である北海道に連絡
H26.9.25	今年は仁々志別川合流点に遡上防止網が張っていない	設置者に確認したところ今年は設置しないとの回答
H26.9.30	家電の不法投棄	釧路市で回収
H26.10.23	タイヤの不法投棄	釧路河川事務所で回収
H26.12.18	動物報告：オオハクチョウの生態	貴重な環境情報として取り扱う
H27.1.14	歩道橋（水道管）の漏水	管理者の北海道と釧路市で補修

梅本氏提供（新釧路川左岸横堤）
動物による堤防斜面の堀跡

紀国氏提供
追われるオオハクチョウ（仁々志別）

紀国氏提供（仁々志別川）
自転車の不法投棄

西村氏提供（釧路湿原）
タイヤの不法投棄

紀国氏提供（昭和歩道橋）
水道管の漏水

国土交通省
あしたを創る　北の知恵
北海道開発局

釧路開発建設部治水課
〒085-8551 釧路市幸町10丁目３番地

釧路湿原川レンジャー事務局
0120－8946－42（やっぱりくしろしつげん）
http//www.ks.hkd.mlit.go.jp/

「釧路開発建設部」で検索して下さい！